

プロジェクト I F

Inland water Flooding

② 除塵機

④ ポンプ増設

機能強化のポイント

近年の降雨量の増加に対応するため以下の機能が追加されました。今後は、排水ポンプの増設が予定されています。

③ 遠隔操作設備 整備状況：完工

遠隔操作設備やカメラを導入することで、操作員が排水機場から退避した後も、安全な場所で操作することができるようになりました。

遠隔操作でカメラを操作して水位を確認▶



④ ポンプ増設 整備状況：着工

現在、排水機場に設置されているポンプの排水能力は7.5m³/秒(1秒間に7.5トンを排水)ですが、さらにポンプ2基の増設工事が予定されています。

この工事が完成すると、排水能力は10.5m³/秒(1秒間に10.5トンを排水)となり約1.5倍に強化されます。

これは25mプールを30秒程度で空にできるということです。

増設予定のポンプは、令和6年の出水期までに稼働できるように工事が進められています。

「排水機能強化式」の様子

6月7日(水)、下潟排水機場の災害復旧工事および耐水化工事の完工に伴う記念の式典が行われ、佐賀県知事をはじめ大町町長や近隣地区の区長など約40人の関係者が出席し、施設の再稼働を祝いました。

今後は、ポンプ増設による排水機能の強化が予定されており、完成すれば町の水害対策に大いに貢献してくれることでしょう。



▲復旧した排水ポンプを遠隔操作で起動する県知事と町長

